

科目No.	SK441	科目名	製品総合管理特論		副題	製品安全対策の基礎知識	
連携機関名	製品評価技術基盤機構 NPO法人 関西消費者連合会	レベル	基礎	講義日時	水曜日 18:00~20:00	講義場所	八尾市立くらし学習館 (婦人会館)
科目概要	近年、消費者が使用する製品の安全性が大きく注目を集めている。種々の製品事故が顕在化し、これを受けて、消費生活用製品安全法の2度にわたる改正が行われる等、製品安全政策の見直しが行われている。本科目では、製品事故の現状と製品安全政策について具体的事例に基づき分析考察するとともに、今後の事故防止方策や政策のあり方について論じる。						

科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属	
製品事故の現状	1	製品事故の動向	NITEの事故情報収集調査結果を用い、製品事故動向を分析考察する。	8月19日	NPO法人 関西消費者連合会 2階研修室 (八尾市立くらし学習館 (婦人会館) 内)	長田 敏	製品評価技術基盤機構	
	2	最近の注目事故、原因究明 I	最近の特徴的な事故と原因究明の具体的事例を通じて、近年の事故の現状を考える。	8月26日		菊地 徹		
	3	最近の注目事故、原因究明 II		9月2日		佐々木茂		
製品事故の防止対策	4	誤使用事故防止 I (事業者の取り組み)		製品安全の原因で最も多い誤使用について、誤使用防止の観点から、作る側、使う側それぞれに事故を防止するために配慮すべきことはなにかを考える。		9月9日		久本誠一
	5	誤使用事故防止 II (消費者の役割)	9月16日			鬼頭茂芳		
	6	高齢者、子供などの事故	事故にあう可能性の高い人たちへの配慮や事故の現状と事故防止について考える。	9月30日		久本誠一		
	7	リスクアセスメント	安全な製品を設計するためのリスクアセスメント手法の現状と今後の課題について考える。	10月7日		山田秀和		
	8	リコール	我が国におけるリコール・回収の現状を分析し、リコール制度、リコールのあり方などについて考える。	10月14日				
製品安全における法令・制度	9	消費者行政における、国、地方自治体、公的機関の役割	我が国の消費者行政(製品安全)の全体像及び国、地方自治体、国民生活センター、NITE等の各セクションの役割について概観する。	10月21日		長田 敏		
	10	我が国の製品安全政策	我が国における安全規則(安全四法、家庭用品品質表示法等)の現状、最近の法律改正について概観する。	10月28日				
	11	海外における製品安全政策の状況	海外ではどのように製品安全が確保されているのかについて概観する。	11月4日				
	12	認定・認証制度	国際ルールとしての認定認証制度とその内外の現状について概観するとともに、製品安全との係りについて論じる。	11月11日				木村 仁
	13	紛争処理	民法、製造物責任法、紛争外処理などについて概観する。	11月18日				長田 敏
	14	化学物質管理政策	内外の化学物質管理政策の現状と今後の動向について概観するとともに、製品安全政策との類似点・相違点について考察する。	11月25日				池谷玲夫 長田 敏
	15	今後の我が国の製品安全政策のあり方	何故、近年製品安全問題が顕在化したのか等を分析し、今後の製品安全政策の課題や技術基準や公的機関のあり方を考察するとともに、階層的規格体系の考え方やあるべき規格体系について提案を行う。	12月2日				長田 敏